



2学期に向けて

本日、1学期が終了しました。生活面での制限や行事等の変更・中止にご理解とご協力をいただきましてありがとうございました。おかげさまで、分散型による授業参観、引渡し訓練、運動会など、安全に配慮しながら実施することができました。そのための準備・運営もお世話になりました。

また、登下校の安全確保のための交通指導や地域内パトロールをしてくださいました地域の皆様、読書の楽しさを伝えてくださったモーニングブックや潤いと趣のある環境を作ってくださいました各種ボランティアなど地域協議会や各種団体の皆様、そして保護者の皆様、教育活動への多大なご支援・ご協力に感謝申し上げます。2学期もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

終業式では、自分を更に成長させるためには「気持ちが大変であり、気持ちが変わることで行動が変わり、行動を続けることで習慣になり、やがて大きな力になる。時間をかけて努力の水を注いでいこう」と話しました。この学期間休業は、ご家庭でも1学期を振り返って、年度始めに掲げた目標を達成するために大切なことを考える機会にさせていただきたいと思います。2学期も「元気 やる気 思いやり」を合言葉として、学び合い、喜び合い、励まし合って、生活や学習に取り組んでいけるように指導・支援していきます。



PTAによる運動会運営



モーニングブック



引渡し訓練



登校時の安全確保



ハンドクラフト部による装飾作成

● タブレットを使って

授業では、文章入力、意見交換、情報収集や共有、写真や動画の撮影、プレゼン資料の作成などで使用し、朝の会では、連絡に利用するなど、発達段階や教科等の特性に応じて利用をしています。子どもたちは、使い方が上達してきています。

9/15(水)に校内研究授業を行いました。2年生の生活科では、校庭で見つけた生きものや図書室の本に載っていた生きもの写真をタブレットで撮影し、気付いたことなどの説明を書き加えて発表シートを作成しました。写真を見ながら発表を聞くことができ理解が深まりました。5年生の社会科では、庄内平野の米づくりについて、タブレットに表示された写真や資料を基に学習課題を設定するために疑問点や気付いたことを入力し、一斉に互いの情報を確認してから、みんなで話し合いました。「拡大して、資料を細かいところまで見られるのがいい。全員の意見をパソコン上で読めるので勉強になる。他の人とコメント機能でやり取りするのが面白かった。」などの感想が見られました。授業の様々な場面でタブレットを使ったことで、文字入力の速度が速くなり、いくつかのショートカットキーも使えるようになりました。



また、職員の参観も、教室で参観する人とミートで別会場で参観する人に分かれました。その後の研究協議もミートを使って、授業についての意見交換やタブレットを使ったよりよい授業の在り方について話し合いました。

● 通知票を見るときは、認め、励ます材料に

お子さんに担任から通知票が手渡されました。通知票は、学習や生活の達成状況や学校での頑張りなどをご家庭にお知らせするものです。子どもたちには、様々なよさや可能性があり、よりよく生きたいという願いをもっています。そのため担任は、一人一人のよさや可能性を積極的に見い出して伸ばすように努めています。家庭では、結果だけでなく、努力したという過程を何よりも大切にして、認め、励ましてください。褒められることで自信がついて、次へチャレンジする勇気ややる気がわいてきます。それが、2学期の目標や更なるステップアップへのエネルギーとなるはずですよ。

○そのためには 子どもと話し合いながら、通知表を見ましょう。子どもの話に耳を傾け、1学期の楽しかったことや工夫したこと、向上したことなどを認め、褒めましょう。うまくできた要因、うまくできなかった要因を一緒に考え、よりよい方向へ進めるように励ましてください。

◎最後まで全力で走る姿を見て、涙が出るほど感動したよ。 ◎手伝ってくれてありがとう。助かったよ。

◎意地悪している子を注意したって聞いて、誇らしく思ったよ。

「大好きだよ。ありがとう。やったね。すごいね。頑張っているね。」などの短い言葉でも、家の人に言われて嬉しくなり、自己肯定感を高めることにつながっていきます。また、家の人は話を聞いてほしい時には話を聞いてくれるという家族の受容的な態度も、心の安定につながっていきます。

▼こんな言葉は逆効果 兄弟や友人との比較は控えましょう。〇〇さんは、Aが〇個もあったんですって……。Aが〇個あったら〇〇を買ってあげる。こんなことも分からないんじゃ、困ったわね。

● 自ら学ぶ力を育てましょう

家庭学習がんばり週間へのご協力ありがとうございました。今後も習慣が継続するよう声掛けをお願いします。

◆子ども自身の「やる気」を大切にしましょう。(以下、県総合教育センター資料より抜粋)

子どもは「なぜだろう」「ちょっとおもしろそうだ」……という気持ちから学習に興味を持ちます。このような気持ちを大切に受け止めて励ましてください。

◆勉強の時間を決めましょう。

各家庭に合った生活時間の中で、勉強する時間を決めたいものです。その時には、子どもが自分で決めるようにさせたいものです。約束を守ること、自分で決めたことを貫き通す力を育てることも大切です。

◆成長に応じたかかわり方を心がけましょう。

低学年では、やる気を伸ばしましょう。

低学年の子どもは「何でもやれるよ。できるよ。」と言うことがよくありますが、実際にはなかなか一人でやるのが困難です。したがって、保護者の協力は欠かせません。やる気を失わない温かい助言や励ましを与えて、次のやる気を育てましょう。

ポイント ・宿題のやり方など、丁寧に教えてあげましょう。 ・親子で楽しく学習する体験をさせましょう。
・できるだけ短い時間で学習させましょう。

中学年では、自立の芽を大切に育てましょう。

中学年になると、何とか自分で決めて行動しようとする気持ちを持ち始めます。その反面自分への甘えを克服できない時期でもあります。ですから、子どもの葛藤を知り、温かく見守ってやったり、ちょっとした手助けしてやったりするなど保護者の心の余裕も必要です。

ポイント ・勉強の内容が徐々に難しくなります。どんなことをやっているのかを子どもに聞いて、声をかけましょう。
・自力で取り組もうとする姿勢を積極的に励ましましょう。

高学年では、子どもの自主性を大切にしましょう。

高学年になると、学習に対して、自分なりの見方、考え方を持ち始めます。思春期を迎えようとしている子どもたちだけに自尊心も一層強くなります。ですから、自分なりに選択したり、工夫したりしていることを大いに認めて、意欲的に取り組めるようにしましょう。

ポイント ・自分の学習目標をしっかり持たせましょう。 ・自分のペースでじっくり取り組ませましょう。

お知らせ 宮っ子ステーションが協力して行っている「茶道親子教室」は、今年度は中止することになりました。